

# 「伝統文化を受け継ごう ～落語に挑戦！～」

～**挑戦問題** 「たくさんの人を笑顔にできる新しい自分づくりに挑戦しよう！」～

## 本単元で育成する資質・能力

知識・技能 情報収集・判断 思考・表現 挑戦・探究 責任・使命 協力・協働 感謝・貢献

### 1 単元で目指す学びの姿

日本の伝統文化である古典落語の価値とともに伝統文化で大切にされてきた学び方を理解し、その習得・活用を通して、表現力を高めるとともに、人を楽しませる新しい自分づくりに挑戦する姿

#### 志を抱く

日本の伝統文化である古典落語に取り組む地域や先輩の姿に出会うことで、落語の習得・活用を通して、人を楽しませることのできる新しい自分づくりへむけて目標を定める。

#### 準備をする

日本の伝統文化で大切にされてきた「技を盗む」「切磋琢磨」の精神で主体的・協働的に落語の技の習得と稽古に取り組むことを通して、落語を演じる力を身に付ける。

#### 挑戦する

落語の習得を通して身に付けた表現力を活用して、それぞれに与えられた発表の場に応じた工夫をすることで、たくさんの人を笑顔にすることに挑戦する。

### 2 単元設定の理由

1学期には「魅力的な生き方探し」の単元で、ビブリオトークに取り組み、人生の先輩たちの生き方を知り、それを伝え合う活動において、本から得た知識や自分の考えを原稿やフリップにまとめて、表現する機会をもった。その中で、自分の学んだことをクイズやフリップの工夫によって、相手を楽しませる工夫も生まれてきた。また、単元後に人前で表現すること、伝えることの難しさを感じたり、もっと分かりやすく伝える力を伸ばしたいという感想が見られた。本学園では、小中一貫教育を進める中で、第1学年（7年生）を中期のしめくくりと位置付けている。そのしめくくりとして、表現力をもう一段高めるために、本単元を設定した。

表現力を高める上で、日本の伝統芸能である落語に挑戦することは、日本の伝統文化を理解するとともに、軽妙な語り口で、登場人物を生き生きと表現する役割演技、また、同時に、視線、扇子と手ぬぐいのみを使った所作など非言語によるコミュニケーション技術を学ぶ上で、有効な題材と考えている。ちなみに、この時期に合わせ、国語科では「さんちき」を扱い、物語の登場人物像の表現を手がかりに読み取り、それを生かした表現を行う学習を行う。その学習の成果を活用させる場面としても有効であると考え。また、3学期に音楽で尺八について学んだり、国語では古典の世界や古典作品に触れる機会をもったりと、他教科でも日本の伝統芸能を学ぶ予定である。

指導にあたっては、生き生きと落語を演じる先輩の姿を通して、「笑い」「人を楽しませる」ことの価値に気付かせたい。また、伝統文化で大切にされてきた「技は教えてもらうものではなく盗むものだ」という主体的な学び方を知るとともに、友達と共に切磋琢磨しながら稽古することを通して、「協働して高め合うことの喜び」と「人を楽しませるまでの成長」という達成感を感じさせることで、生徒の学びに向かう力を育てたい。

ゴールとして、習得した落語を、日頃からお世話になっている方々へ感謝の気持ちも込め、実際に家族・友人・地域の人などの前で披露して、楽しんでもらえる体験を仕組むことで、表現活動の醍醐味を味わわせたい。そのことで、後期の様々な表現活動へ主体的に取り組むさらなる挑戦心を育むことができる考える。

演目の選択については、1話を5～10分程度の内容におさめた「えほん寄席」（小学館）から、指導者として迎えたジャンボ衣笠さん（広島県で活躍されている落語家）と協議の上、生徒の発達段階を踏まえるとともに、非言語活動と言語活動、両面で教育効果が期待できそうなものを選んだ。

### 3 単元目標

日本の古典芸能「落語」を「技は盗むものである」「切磋琢磨して高め合う」という「主体的・協働的な学び方を通して習得・活用し、相手を意識して表情豊かに表現する力を高め、落語などで人を楽しませることのできる自分づくりに挑戦することができる。

### 4 学習期間

第1学年 7月～10月上旬

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
			←————→								
			3h	6h	9h	8h					

### 5 学ぶ姿を見取るために生徒と共有する資質・能力ルーブリック

	資質・能力	評価	評価基準
知識・技能	知識・技能	S	落語を披露して、落語の楽しさや魅力を伝えている。
		A	落語における話し方のコツや視線の技も覚えている。
		B	落語のことをいろいろと理解している。
		C	落語を覚えていない。
思考・判断・表現	情報収集・判断	S	落語のおもしろさだけでなく、落語の奥深さを感じている。
		A	落語のおもしろさのポイントを見付け出している。
		B	落語のおもしろさのポイントを見付けている。
		C	落語のおもしろさのポイントを見付けていない。
	思考・表現	S	登場人物の性格やしぐさなどが目に浮かぶように表現している。
		A	登場人物の性格やしぐさを表現している。
主体的に学習に取り組む態度	挑戦・探究	S	落語をマスターし、人を楽しませる新しい自分を創り出そうとしている。
		A	落語をマスターしようと、見通しをもって粘り強く学び続けようとしている。
		B	落語をマスターしようと、最後まで学び続けようと努力している。
		C	落語をマスターすることを途中であきらめている。
	責任・使命	S	発表に向け、自分に与えられた責任や使命を考えることで、自分の生き方を変えるきっかけにもしている。
		A	発表に向け、自分に与えられた責任や使命を考え、すべきことを行おうとしている。
		B	発表に向け、自分に与えられた責任や使命を理解し、果たそうと努力している。
		C	発表の場で自分に与えられた責任を果たそうとしていない。
	協力・協働	S	他の人と協働して、お互いの表現力を高め合い、心をひとつにして最高の舞台をつくりあげようとしている。
		A	他の人とアドバイスをし合い、また競い合うことで、お互いの落語などの発表をよりよいものにしようとしている。
		B	他の人と協力しようとしている。
		C	他の人と協力しようとしていない。
	感謝・貢献	S	今回の取組を通して、自分なりに感謝の気持ちを伝え、貢献することで、いろいろな人と絆を深めようとしている。
		A	今回の取組を通して、自分なりに感謝の気持ちを伝え、自分なりに貢献しようとしている。
		B	今回の取組を通して、自分なりに感謝の気持ちを伝え、自分なりに貢献しようとしている。
		C	今回の取組を通して、自分なりに感謝の気持ちを伝え、貢献しようという気持ちになれていない。

6 本単元の指導計画（総授業時間数 26時間）

月	学習活動	時数	★評価規準
7	<p>・「笑い」にはどんな力があるかを考える。</p> <p>・笑福亭鶴笑さんの活動から、たくさんの人を笑顔にすることの意味や素晴らしさを感じ取る。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p><b>挑戦問題</b> 「たくさんの人を笑顔にできる新しい自分づくりに挑戦しよう！」</p> </div> <p>・たくさんの人を笑顔にできる新しい自分づくりに落語を通して挑戦することを知る。</p> <p><b>STEP 1 「落語の魅力を知ろう！」</b></p> <p>・「広南寄席」で、地域で活躍する落語家や、落語に取り組んでいる小・中学生に交じり、2年生の先輩が落語を堂々と演じて多くの人を楽しませる姿を見ることを通して、自分の目標を定める。</p> <p>・目標を達成するために、自分が取り組まなければならない課題について考える。（課題発見）</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; margin: 10px 0; width: fit-content;"> <p><b>課題の設定</b></p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>落語を通して相手を楽しませることのできる表現力を身に付ける。</p> </div> <p><b>STEP 2 「落語の技を盗もう！」</b></p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin: 10px 0;"> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px;">情報収集</div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px;">整理・分析1</div> </div> <p>・落語家の実演から、笑いをさそう落語の表現方法のポイントについて情報収集する。</p> <p>・落語が上達する方法について話し合っまとめる。</p>	2	<div style="border: 1px solid orange; padding: 10px; margin-bottom: 10px;"> <p>・落語なんて自分には無理だと思っていた。けれども、自分と同じ中学生なのに、先輩も落語を学んで、あんなに私たちを笑わせてくれた。自分も先輩を見習って、人を楽しませることのできる新しい自分づくりに挑戦したい。</p> </div> <div style="border: 1px solid orange; padding: 10px; margin-bottom: 10px;"> <p>・落語のことをもっと知りたい。 ・人を笑わせるコツってなんだろう？ ・どの落語に挑戦しようかな。 ・今の恥ずかしがりやの自分ではだめだな。殻を破らないときっとできないな。 ・落語をまず覚えないと話にならないな。</p> </div> <p>★【挑戦・探究】 落語をマスターすることに粘り強く取り組もうとする意欲をもち、単元を通して身に付く資質・能力について、見通しをもとうとしている。（ワークシート）</p>
8	<p><b>STEP 3 「落語の技を仲間と磨き合おう！」</b></p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin: 10px 0;"> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px;">情報収集2</div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px;">整理・分析2</div> </div> <p>○「落語を覚えよう！」</p> <p>・グループに分かれ、協力して文章を暗記する。</p> <p>・「上・下」について理解し、登場人物の演技分けをすることを覚える。</p>	6	<p>★【協力・協働】 同じ演目の仲間を意識し合うことで、落語を覚えることに協働して取り組もうとしている。（行動観察・振り返りシート）</p>

9	<p>○「落語の技の具体的なポイントを見付け出そう」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・GTの模範演技や演技指導から、演じ方のポイントを理解する。</li> <li>・登場人物の演じ分けをするには、「上・下」以外に具体的にどのような方法があるかを模範演技や演技指導を通して見付け出す。</li> </ul> <p>○「『対比』に注目して落語をレベルアップさせよう！」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「対比」のポイントを意識して話し方の工夫を考え、表現する。</li> </ul> <p>○「落語の技を磨き合おう！」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・模範演技や演技指導によって学んだ表現の技の工夫を、各グループで話し合ったり、演技を見せ合ったりして磨き合う。</li> </ul> <p>○「今までの指導や練習を生かし、落語を仕上げる」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・落語発表者会選考会に向けて練習を積む。</li> </ul>	2	<p>★【情報収集・判断】</p> <p>落語家の方から助言を引き出し、笑いをさそう具体的な表現のポイントを見付け出している。(発表・ワークシート)</p>
		1	<p>★【思考・表現】</p> <p>「対比」のポイントをしっかり考えることで、落語のお話がより面白くなるように考えている。(行動観察・ワークシート)</p>
		2	<p>★【協力・協働】</p> <p>仲間どうしでアドバイスし合うことで、よりよい落語に高め合おうとしている。(振り返りシート)</p>
		2	<p>★【知識・技能】</p> <p>落語の表現のポイントを理解している。(発表・ワークシート)</p>
<p><b>まとめ・創造・表現</b> 広南劇場落語発表者選考会</p>			
		2	<p>★【挑戦・探究】</p> <p>自己を振り返るとともに、広南劇場に向け、見通しをもち、粘り強く学び続けようとしている。(振り返りシート)</p>
		4	<p>★【責任・使命】</p> <p>発表に向け、自分に与えられた責任や使命を考え、すべきことをきちんとしようとしている。(行動観察)</p>
	<p><b>STEP 4 「人を楽しませる新しい自分になって広南劇場で貢献しよう！」</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「広南劇場」へ向け、選ばれた代表者3名はさらに練習を積み、より楽しい落語になるように技を練る。</li> <li>・代表者以外の生徒は落語で身に付けた表現力を活用して、幕間で披露する出し物を3グループに分かれて考え、小道具など必要なものを準備し、練習する。(手品・カップソング・もくりんダンス等)</li> <li>・客席での応援の方法を考え、準備する。(リハーサルを行う)</li> </ul>		

10	<div data-bbox="225 143 555 212" style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 2px; display: inline-block;"> <b>まとめ・創造・表現Ⅱ</b> </div> <div data-bbox="568 136 746 212" style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 2px; display: inline-block; margin-left: 10px;"> <b>広南劇場</b> </div>	2	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・広南劇場を振り返り、作文を書き、これまでの取組を自己評価する。</li> </ul>		<p>★【思考・表現】 披露する相手に応じて、面白さがより伝わるものになるような表現の工夫を考えている。(ワークシート)</p>
	<p><b>STEP 5 「出前落語に挑戦しよう！」</b></p> <div data-bbox="225 539 395 609" style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 2px; display: inline-block;"> <b>実行</b> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・広南劇場（3名）・ふれあいサロン長浜（3名）・ふれあいサロン小坪（3名）・小学校（8名）でそれぞれ落語を披露する。</li> <li>・各場にふさわしい高座名を与え、落語の始めの言葉を考える。</li> <li>・各場において、演者以外は、めくり・CD・小道具などの役割分担をしてそれぞれの会が成功するようにサポートする。</li> <li>・各場を盛り上げるために拍手・掛け声など工夫する。</li> </ul>		<p>★【感謝・貢献】 落語披露を聞きに来て下さったお客様に対して楽しんでもらえるよう、自分ができる精一杯の表現をしようと努力している。(ワークシート)</p> <p>★【思考・表現】 相手に応じた表現の工夫を考えている。(行動観察・ワークシート)</p>
	<div data-bbox="225 1099 400 1169" style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 2px; display: inline-block;"> <b>振り返り</b> </div> <p>○「単元で身に付けた資質・能力を振り返ろう」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各自、落語を披露することで、たくさんの人を笑顔にすることができたか、笑いの力を届けることができたかについて振り返り、クラスで交流する。</li> <li>・ワークシートのループリックを見て、本単元で身に付けた資質・能力を自己評価する。</li> <li>・ワークシートを提出し、教師の評価を受ける。</li> </ul>		<p>★【挑戦・探究】 全項目を単元のループリックで振り返り、自己の成長や課題に気づき、次の表現活動につなげようとしている。</p>



### 8 本時の学習（3時間目／全26時間）

(1) 本時の目標 落語の実演から、笑いをさそう落語の表現方法のポイントを見付け出すことができる。

(2) 学習の流れ

学習活動	指導上の留意点（・） 配慮を要する生徒への支援（◆） 予想される生徒の反応（ <u>                    </u> ）	評価規準 資質・能力（★） （評価方法）
<p><b>1 課題意識をもつ。</b> ・前時の振り返りシートから落語に挑戦するにあたっての課題と思うことを出し合い共有する。</p> <p><b>2 本時のめあてを確認する。</b></p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;">めあて 「落語の技を盗もう」</div> <p><b>3 自分達に取り組む落語の演目の実演をみて、どこに笑いを誘うポイントがあるか考える。</b> ・実演を見ながらポイントと思うところをメモする。</p> <p><b>4 自分たちが見つけた笑いをさそうポイントを手がかりに落語家の方から助言を得ながら、落語の表現方法のポイントについて理解を深める。</b></p> <p><b>5 落語の上達の方法を話し合ってまとめる。</b></p> <p><b>6 本時の振り返りをする。</b></p> <p><b>7 予習課題を確認する。</b> ・実演された演目の中から自分の取り組みたい演目の希望順位と決意と書き込む。</p>	<p>・古来より日本の伝統芸能では、「技は教えてもらうのではなく、盗むもの」という主体的に学ぶ姿勢が大切にされてきたことを伝える。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>生徒のメモ例</p> <p>【まんじゅうこわい】 ・まんじゅうの食べ方、扇子の使い方がポイント</p> <p>【壺算】 ・つぼのかつぎ方、店主とやりとりをリズムよく話すことがポイント</p> <p>【動物園】 ・虎の皮の着方、歩き方</p> </div> <p>◆おもしろいと思ったところをメモするよう、声かけをする。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>&lt;落語が上達する道&gt;（まとめ例）</p> <p>①覚える ②大きな声で話す ③登場人物になりきって演じる ④上下を付ける ⑤目線（遠近、目力）</p> </div> <p>・演目が決定次第、公演が収録されたCDと原稿を配布することを伝える。</p> <p>・My 扇子、My 手ぬぐいを準備するように指示する。</p>	<p>★【情報収集・判断】 実演を見ることを通して、笑いをさそう落語の表現のポイントを見付け出している。（発表・ワークシート）</p>





### 10 本時の学習（10～11時間目／全26時間）


(1) 本時の目標 ゲストティーチャーとして招いた落語家の方に助言を求めると、落語の表現を高める具体的なポイントを見付け出すことができる。

(2) 学習の流れ

学習活動	指導上の留意点（・） 配慮を要する生徒への支援（◆） 予想される生徒の反応（┌─┐─┐─┐─┐└─┘）	評価規準 資質・能力（★） （評価方法）
<p><b>1 課題意識をもつ。</b> ・ どういうふうになれば落語家の方から適切なアドバイスが引き出せるか考える。</p> <p><b>2 本時のめあてを確認する。</b></p>	<p>┌─┐─┐─┐─┐└─┘</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 指導してほしいポイントを自分から伝える。</li> <li>・ 他人への指導も参考にできる。</li> </ul>	
<p><b>めあて 「落語の技の具体的なポイントを見付け出そう」</b></p>		
<p><b>3 グループに分かれ、指導を受ける。</b> ・ 指導を受けたいポイントを落語家の方に伝える。</p> <p>・ 個別に指導を受け、助言を引き出す。</p> <p>・ 気付いたポイントをメモする。</p> <p><b>4 お互いメモしたことを発表し合い、模造紙にまとめる。</b></p> <p><b>5 本時の振り返りをする。</b> ・ ワークシートの振り返りシートを書く。</p> <p><b>6 予習課題を確認する。</b> ・ 次の時間のグループ練習の目標を考えてくる。</p>	<p>・ グループで練習したときの疑問点や教えて欲しかったことなどを質問する。</p> <p>・ 仲間が落語家の指導を受けている姿を見ることも勉強になるので、自分が指導を受けるとき以外の時間もじっくり指導を見て、見付けた工夫のポイントをメモさせる。</p> <p>◆指導の様子を撮影して録画しておき、後の個人練習で活用できるようにしておく。</p> <p>┌─┐─┐─┐─┐└─┘</p> <p>生徒のメモ例</p> <p>【まんじゅうこわい】 ・まんじゅうを食べる様子や、どんぶりをもち上げる仕草のコツがポイント</p> <p>【壺算】 ・壺のかつぎ方、そろばんの使い方、番頭とのやりとりがポイント</p> <p>【動物園】 ・動きで、虎を演じ分けるのがポイント</p> <p>└─┘</p>	<p>★【情報収集・判断】 落語家の方から助言を引き出し、笑いをさそう具体的な表現のポイントを見付け出している。 （発表・ワークシート）</p>

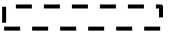
### 1 1 本時の学習（12時間目／全26時間）

- (1) 本時の目標 物語を盛り上げる表現の工夫のポイントとして「対比」という観点を意識することで、協働してそれぞれの落語のレベルアップを図ることができる。
- (2) 学習の流れ

学習活動	指導上の留意点（・） 配慮を要する生徒への支援（◆） 予想される生徒の反応（  ）	評価規準 資質・能力（★） （評価方法）
<p><b>1 課題意識をもつ。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>代表生徒の2つの意図的な実演を比較する中で、物語を盛り上げるポイントとして「対比」を強調することの重要性に気付く。</li> </ul> <p><b>2 本時のめあてを確認する。</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>落語では内容や登場人物の「対比」がうまく使われており、それを強調することで、面白さが伝わる</li> </ul>	
<p><b>めあて 「『対比』に注目して落語をレベルアップさせよう！」</b></p>		
<p><b>3 グループ練習をする。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自分たちの演目ではどこを「対比」させることによってより楽しくなるか話し合う。</li> <li>具体的な工夫の方法について話し合う。</li> <li>話し合ったことを意識して、順番に実演をする。</li> <li>それぞれの演舞に対して、お互いにアドバイスし合う。</li> </ul> <p><b>4 本時の振り返りをする。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ワークシートの振り返りのページに本時の自分の取組について振り返って記入する。</li> </ul> <p><b>5 予習課題を確認する。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>家で練習してくることを確認する。</li> </ul>	<div style="border: 2px dashed black; padding: 10px; margin-bottom: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「まんじゅうこわい」 しゃべり方、まんじゅうの食べ方</li> <li>・「壺算」 会話のテンポ</li> <li>・「動物園」 しゃべり方、虎の着ぐるみの着方</li> </ul> </div> <p>◆「対比」のポイントを意識するよう、アドバイスする。</p>	<p>★【思考・表現】</p> <p>「対比」のポイントをしっかり考えることで、落語のお話がより面白くなるように考えている。 （行動観察・ワークシート）</p>

## 12 本時の学習（13～14時間目／全26時間）

- (1) 本時の目標 前時に自分たちがまとめた落語の表現のポイントにそって、ひとつひとつ協働して、表現力を高め合うことができるようにする。
- (2) 学習の流れ

学習活動	指導上の留意点（・） 配慮を要する生徒への支援（◆） 予想される生徒の反応（  ）	評価規準 資質・能力（★） （評価方法）
<p><b>1 課題意識をもつ。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>今の自分の落語の改善点について考える。</li> </ul> <p><b>2 本時のめあてを確認する。</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>3つの教室（音楽室…壺算，クローバー学級…まんじゅうこわい，動物園…1A）に分かれ，グループごとに練習する。</li> <li>※ 各教室でアップルTV使用</li> <li>前時までの Jamboard に整理した原稿で落語の表現のポイントから確認する。</li> </ul>	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">めあて 「落語の技を磨きあおう！」</div>		
<p><b>3 全員の前で発表の形式で行う。</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>（発表する人）仕草，上下など表現の仕方を工夫して，発表するグループ学習を行う。</li> <li>（聞く人）できている所，アドバイスする点を考えながら聞く。発表後すぐに意見を聞いて，発表者に返す。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">                     （ICT）発表を動画撮影し，いつでも生徒が振り返りができるようにする。                 </div>	<p>★【協力・協働】</p> <p>仲間どうしでアドバイスし合うことで，よりよい落語に高め合おうとしている。（振り返りシート）</p>
<p><b>4 気づきを全体で共有する。</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>Jamboard に気付いたことなどをどんどん書きこんでポイントを認識していく。</li> <li>新しい発見や際立った技の工夫があれば全体に紹介する。</li> </ul>	
<p><b>5 振り返りをする。</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>振り返りをロイロノートの提出箱に提出していく。 友達からのアドバイス。 この時間でできたこと。 次時までにしていくこと。</li> <li>◆撮影して録画しておいた落語家の演技を見返し，個人練習で活用する。</li> </ul>	

### 13 本時の学習（15・16時間目／全26時間）

- (1) 本時の目標 選考会に臨む準備の完成に向けて、落語の表現力をさらに高めるためのポイントを理解することができる。
- (2) 学習の流れ

学習活動	指導上の留意点（・） 配慮を要する生徒への支援（◆） 予想される生徒の反応（ <u>                    </u> ）	評価規準 資質・能力（★） （評価方法）
<p><b>1 課題意識をもつ。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>最後のアドバイスを得る時間であることを知る。</li> </ul> <p><b>2 本時のめあてを確認する。</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>次の時間はいよいよ「落語発表者選考会」を開くことを伝え、各自、自分の課題を解決し、選考会に向けて落語を完成させることを伝える。</li> </ul> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>最後まであきらめないで、しっかりアドバイスしてもらって、がんばるぞ！</li> <li>他の人の落語も参考にするぞ！</li> </ul> </div>	
<p><b>めあて 「今までの指導や練習を生かし、落語を仕上げる」</b></p>		
<p><b>3 グループに分かれ、活動する。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>演目のポイントを整理し、実践し、仲間から、アドバイスを受け、メモをする。</li> </ul> <p>・アドバイスをもとに、練習を行う。</p> <p><b>4 本時の振り返りをする。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ワークシートの振り返りシートに、選考会に臨む決意と、その日までに取り組むべき課題について書く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>仲間の実演の姿を見ることも演目のポイントの発見になるので、時間を有効に活用しするよう指示し、見付けた工夫のポイントをメモさせる。</li> </ul> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>生徒のメモ例</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>役割によって異なる所作の表現</li> <li>性格を表す語尾の使い方</li> </ul> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>お互いに演じて、最後のアドバイスをし合う。</li> <li>◆教師も必要に応じてアドバイスを行う。</li> </ul>	<p>★【知識・技能】 落語の表現のポイントを理解している。（発表・ワークシート）</p>

#### 1 4 本時の学習（17・18時間目／全26時間）

- (1) 本時の目標 これまでの練習の成果を発揮して、落語を披露し合い、相互評価をする中で、それぞれの表現力の向上を実感し合い、次の課題に向け、学び続けることができるようにする。
- (2) 学習の流れ

学習活動	指導上の留意点（・） 配慮を要する生徒への支援（◆） 予想される生徒の反応（┈┈┈┈┈┈┈┈）	評価規準 資質・能力（★） (評価方法)
<p><b>1 課題意識をもつ。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・選考会ではあるが、「切磋琢磨」が目標であり、落語を通して人を楽しませる新しい自分づくりに挑戦することが本単元の目標であることを再確認する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いくらしっかり練習しても、本番で力を発揮できないことはよくあることを伝え、「舞台度胸」を身に付けることの大切さを理解させる。</li> <li>・GTとして校長先生・教頭先生、学校主事さんに審査員として参加してもらうことを伝える。</li> </ul>	
<p><b>めあて 「広南劇場落語発表者選考会で練習の成果を発揮する」</b></p>		
<p><b>2 本時のめあてを確認する。</b></p>		
<p><b>3 選考基準と方法を確認する。</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・聞き手の態度についてもどのような態度が望ましいか考えさせる。</li> <li>【評価方法並びに評価項目】</li> <li>・「声の大きさ」、「役割演技・セリフの工夫」、「表情・身振り手振り」、「小道具の使い方」の4項目について「◎よくできている！」、「○頑張っているけどもう少し！」、「△もっと頑張ってみよう！」の3段階基準で評価し、「一言メッセージ」欄に自由記述でコメントを記入させる。</li> </ul> <p>◆配慮を要する生徒には必要な支援を行う。</p>	
<p><b>4 演目ごとにグループ分けをし、発表をする。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・これまでの練習の成果を精一杯発表する。</li> <li>・お互いの発表を評価しあい、もっと良いものをつくり上げていこうとする。</li> <li>・【時そば】→【長短】→【化け物使い】の順に演技をさせる。</li> <li>・審査員からの講評を聞く。</li> </ul>		
<p><b>5 本時の振り返りをする。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各グループの中で演技が最も素晴らしかったと思う3人を選ぶ。</li> <li>・自分の演技を振り返り、自己評価をする。</li> </ul>	<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>生徒の振り返り例</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・みんなが笑ってくれた。自分の殻を破ることができたぞ。</li> <li>・みんな落語がうまくなっていて驚いた。</li> <li>・代表に選ばれなかったのは悔しいけど、他の方法で広南劇場ではお客さんを楽しませたい。</li> </ul> </div>	
<p><b>6 予習課題を確認する。</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・帰りの会で選ばれた代表者を発表するとともに、選ばれなかった人は、どんな出し物をするか考えてくることを伝える。</li> </ul>	
<p>★【挑戦・探究】 自己を振り返るとともに、広南劇場に向け、見通しを持ち、粘り強く学び続けようとしている。 (振り返りシート)</p>		

### 15 本時の学習（19～22時間目／全26時間）

(1) 本時の目標 広南劇場で各演目を披露する代表者は落語の技を磨き、それ以外の生徒は広南劇場を盛り上げるための幕間の出し物や役割分担を決め、自分に与えられた責任や使命を理解し、果たすことができるようにする。

(2) 学習の流れ

学習活動	指導上の留意点（・） 配慮を要する生徒への支援（◆） 予想される生徒の反応（！―――！）	評価規準 資質・能力（★） （評価方法）
<p><b>1 課題意識をもつ。</b> ・広南劇場で代表として落語をする人以外も、落語で身につけた表情豊かな表現力を活用することが大切であることを理解する。</p> <p><b>2 本時のめあてを確認する。</b></p>	<p>！―――！</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・代表者に選ばれたので、みんなのためにもがんばりたい。</li> <li>・代表に選ばれなかったのは悔しいけど、他の方法で広南劇場ではお客さんを楽しませたい。</li> </ul>	
<p><b>めあて 「人を楽しませる新しい自分になって広南劇場で貢献しよう！」</b></p>		
<p><b>3 代表者はさらに練習を積み、より楽しい落語になるように技を練る。</b> ・【壺算】【動物園】【饅頭こわい】の順に練習をする。 ・実際にステージでどう演じるか、着物を着ての所作（めくり・座布団）の指導を受ける。</p> <p><b>4 代表者以外の生徒は広南劇場を笑いの力で盛り上げるための幕間の出し物を考える。</b> ・予習課題で準備してきた出し物を披露しよう。 ・披露する相手に応じて、面白さがより伝わるものになるような表現の工夫を考えさせる。</p> <p><b>5 幕間の出し物用に「手品「カップソング」「もくりんダンス」の3つのグループに分かれ、小道具など必要なものを書き出し、計画を立てる。</b> ・グループに分かれ、リーダーを選出する。 ・グループで練習をする。</p> <p><b>6 本時の振り返りをする。</b> ・振り返りシートを書く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・衣装の着付けは、教職員が担当する。</li> <li>・落語家に演技指導していただき、疑問点やさらに教えて欲しいことなどを質問させ、技の向上に生かすよう助言する。</li> </ul> <p>！―――！</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本物の寄席みたいな雰囲気になってきて気合いが入るぞ！</li> <li>・落語で大勢の人を笑わせてやるぞ。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ステージ上で見栄えがする芸か、客観的にとらえ、工夫・改善を考えさせる。</li> <li>◆「仲間受け」だけの出し物を考えている生徒には、誰に対して発表するのかを考えさせ、客観性をもつよう指導する。</li> </ul> <p>！―――！</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コインを使った手品では、会場全体へは伝わりにくいので、もっと動作の大きな手品を用意しなくてはいいなあ。</li> <li>・カップソングで歌う曲は、最近のヒット曲だと保護者や地域の人にはわかってもらえないなあ。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・考えたこと、工夫・改善したこと、また今後の取組や披露の場への意気込みなどを記入するようにさせる。</li> </ul>	<p>★【責任・使命】 発表に向け、自分に与えられた責任や使命を考え、すべきことをきちんとしようとしている。（行動観察）</p>

### 16 本時の学習 (23・24時間目 / 全26時間)

- (1) 本時の目標 広南劇場で落語を披露する生徒は落語の技を磨き、それ以外の生徒は幕間の出し物の練習や、会場全体を盛り上げる方法を考えることができる。
- (2) 学習の流れ

学習活動	指導上の留意点 (・) 配慮を要する生徒への支援 (◆) 予想される生徒の反応 ( ! ━━━━━━━━━━ ! )	評価規準 資質・能力 (★) (評価方法)
<p><b>1 課題意識をもつ。</b> ・広南劇場の目的を確認する。</p> <p><b>2 本時のめあてを確認する。</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日ごろ、お世話になっている地域の方に楽しんでもらえる舞台をつくることで、感謝の気持ちを伝えることが大切だ。</li> <li>・しっかり練習して、成功させるぞ。</li> </ul>	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <b>めあて 「人を楽しませる新しい自分になって広南劇場で貢献しよう！」</b> </div>		
<p><b>3 落語の代表者はさらに練習を積み、より楽しい落語になるように技を練る。</b></p> <p><b>4 落語の代表者以外の生徒は広南劇場を笑いの力で盛り上げるための幕間の出し物を練習する。</b></p> <p><b>【手品】</b> ・大きな舞台で発表する手品をよりひきたたせるためにどんなことをしたらよいか考える。</p> <p><b>【ダンス】</b> ・上級生からダンスを習い、自分たちの発表だけで無く、上級生の発表も盛り上げることを考える。</p> <p><b>【カップソング】</b> ・観客の年齢層を考えた選曲を考える。</p> <p><b>5 広南劇場の舞台づくりのリハーサルを行う。</b> ・落語用の高座や幕間の演技に必要な道具の出し入れを確認する。 ・「よっ！○○」などの声かけや拍手が会場を盛り上げることに気付く。</p> <p><b>6 本時の振り返りをする。</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・衣装の着付けは、教職員が担当する。</li> <li>・落語家に演技指導していただき、最終チェックをして、技の向上に努める。</li> </ul> <p>例</p> <p><b>【手品】</b> ・司会者を立て、実況中継風にアナウンスや解説を入れ、今なにが行われているのかを周囲に知らせるなど、手品をひきたたせる方法を考えさせる。</p> <p><b>【ダンス】</b> ・上級生が発泡スチロールで作製した「もくりん人形」の頭部をかぶり、会場全体を盛り上げるような振り付けを工夫させる。</p> <p><b>【カップソング】</b> ・大きな声で歌を歌い、しっかりと練習した技を披露することで会場を盛り上げるよう指導する。</p> <p>◆小グループをつくり、恥ずかしがって声かけができない生徒も落語で学んだことを思い出させ、大きな声が出せるよう指導する。</p>	<p><b>★【思考・表現】</b> 披露する相手に応じて、面白さがより伝わるものになるような表現の工夫を考えている。(ワークシート)</p>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いよいよ広南劇場だ。自分は落語ではないけど、しっかり発表して観客の人に喜んでもらうぞ！</li> <li>・落語の代表者として、がんばるぞ！</li> </ul>	

17 本時の学習 (25時間目/全26時間)

- (1) 本時の目標 「出前落語」に向け、日頃の感謝の気持ちを込め、披露する相手に応じて、落語の面白さがより伝わるものになるような表現の工夫を考えることができる。
- (2) 学習の流れ

学習活動	指導上の留意点 (・) 配慮を要する生徒への支援 (◆) 予想される生徒の反応 (「」)	評価規準 資質・能力 (★) (評価方法)
<p><b>1 課題意識をもつ。</b></p> <p>・単元のしめくくりの「出前落語」の目的を理解する。</p> <p><b>2 本時のめあてを確認する。</b></p>	<p>・広南劇場での地域の方の感想などを紹介し、達成感を共有する。</p> <p>・単元の目的が「みんなを楽しませることのできる新しい自分づくり」であったことを思い出させる。</p> <p>「 ・広南劇場では、代表の人がとてもが んばって輝いて見えた。自分もあんな ふうに多くの人を楽しませたい！」</p>	
<p>めあて 「出前落語に挑戦しよう！」</p>		
<p><b>3 落語を披露する場面を決定する。</b></p> <p>・広南劇場 (3名) ふれあいサロン長浜 (3名)・ふれあいサロン小坪 (3名)・広南小学校 (10名)でそれぞれ落語を披露することを知る。</p> <p><b>4 各場での公演計画を立てる。</b></p> <p>・披露する相手に応じて、落語の面白さがより伝わるものになるような表現の工夫を考えさせる。</p> <p>・高座名を発表する。</p> <p>・演者以外の役割分担をする。</p> <p>・会場ごとにリハーサルをする。</p> <p><b>5 本時の振り返りをする。</b></p>	<p>・披露する相手が高齢者の場合と小学生の場合では気を付けることが異なることに気付かせ、そこから相手に応じての表現の工夫を考えさせる。</p> <p>・各場にふさわしい高座名を与え、落語の前口上を考えさせる。</p> <p>・各場において、演者以外は、めくり・CD・小道具などの役割分担をしてそれぞれの会が成功するようにサポートさせる。</p> <p>◆配慮を要する生徒には必要な支援を行う。</p> <p>「 ・さあ、披露のラストチャンスだ! しっかりと練習して楽しんでもら ぞ！」</p>	<p>★【感謝・貢献】 落語披露を聞きに来て下さったお客様に対して楽しんでもらうよう、自分ができる精一杯の表現をしようと努力している。(ワークシート)</p> <p>★【思考・表現】 相手に応じた表現の工夫を考えている。(行動観察・ワークシート)</p>



## 18 本時の学習（26時間目／全26時間）

(1) 本時の目標 今回の単元の目標「たくさんの人を笑顔にできる新しい自分づくりに挑戦しよう」が達成できたか、どんな資質・能力が身についたか、ワークシートのループリックを活用し、振り返りを行うことを通して、自己成長感を味わい、次の表現活動につなげることができるようにする。

(2) 学習の流れ

学習活動	指導上の留意点（・） 配慮を要する生徒への支援（◆） 予想される生徒の反応（ <u>                    </u> ）	評価規準 (評価方法)
<p>1 課題意識をもつ。</p> <p>2 本時のめあてを確認する。</p>	<p>・単元の挑戦問題「たくさんの人を笑顔にできる新しい自分づくりに挑戦しよう」を想起させる。</p>	
<p>めあて 「単元で身に付けた資質・能力を振り返ろう」</p>		
<p>3 各自、落語を披露することで、たくさんの人を笑顔にすることができたか、笑いの力を届けることができたかについて振り返り、クラスで交流する。</p>	<p>・交流をする。</p> <p>・広南劇場での地域の方の感想や、それぞれの出前落語でのお客さんの反応を生徒に紹介する。</p> <p style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">                 ・長い話だったけど、しっかり覚えて演じることができた。                  ・地域のお年寄りの方に笑ってもらうことができた。                  ・ふれあいサロンでおばあちゃんが見せてくれた笑顔が嬉しかった。             </p>	
<p>4 ワークシートのループリックを見て、本単元で身に付けた資質・能力を自己評価する。</p>	<p>・自分が成長したと思うこと、課題だと思ふことなどを記入させる。</p> <p>◆自分への評価が厳しい生徒には、肯定的な面があったことを知らせる。</p>	<p>★【挑戦・探究】 全項目を単元のループリックで振り返り、自己の成長や課題に気付き、次の表現活動につなげようとしている。</p>
<p>5 7つの資質・能力を評価した内容について、具体的に記述する。</p>	<p style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">                 生徒の振り返り例                  ・人に笑ってもらうことがこんなに大変なことだとは思わなかった。                  ・最初はとても恥ずかしくて、いい演技ができなかったけど、自分が恥ずかしかっているだけでは、人は笑ってくれないことがよく分かった。                  ・自分の殻を破ることができた！             </p>	
<p>6 ワークシートを提出し、教師の評価を受ける。</p>	<p>・教師の評価はワークシートと発表をもとに学年団で行い、肯定的なコメントもつける。</p>	

# 「伝統文化を受け継ごう ～落語に挑戦！～」

～挑戦問題 「たくさんの人を笑顔にできる新しい自分づくりに挑戦しよう！」～

## 本単元で育成する資質・能力

知識・技能 情報収集・判断 思考・表現 挑戦・探究 責任・使命 協力・協働 感謝・貢献

## 期待される生徒の変容

日本の伝統芸能である落語に挑戦し、日本の伝統文化を理解するとともに、表現力の育成をはかり、「笑い」や「人を楽しませること」の価値に気づくこと、稽古を通して仲間と切磋琢磨しながら、人を楽しませることのできる自分の成長を感じる中で、主体性を育成する。

最後に、落語で習得した技能を使い、お世話になっている家族や友人、地域の人の前で、感謝の気持ちを込め、落語を中心に、文化祭などで舞台上で披露して楽しんでもらうことで、表現活動の醍醐味を味わうとともに、後期の様々な表現活動へ主体的に取り組むためのさらなる挑戦心を育む。

## 単元で育成を目指す資質・能力に係る成果と課題

### Before 【生徒の振り返りシートより】

- ・落語の演目発表がありました。原稿を渡されたとき（何枚あるん。長っ！）と思いました。全部覚えてすらすら読めるように頑張ります。
- ・落語は「動物園」に決まりました。落語ができるのか不安が大きいです。でもトラの仕草が面白そうでここを頑張れば面白い物ができるかもと思って頑張ろうと思います。
- ・「まんじゅうこわい」になりました。小学校の時に毎年見に来ていたので、ついに自分がするときが来たなと思います。覚えることをしっかり頑張ってお客さんに喜んでもらえるように頑張ります。



講師による指導

### After 【振り返り】

- ・最初は棒読みで演技なんか意識していなかったけど、仲間の演技を見て、自分も上手になりたいと思い、オーディションまで練習しました。そうしたら、オーディションでほめられてとても嬉しかったです。
  - ・人前に出て発表するのは苦手だったけど落語を始めてから、やるからにはとことんやろうと思い、取り組みました。結果、文化活動発表会での発表することになり、少し自信がついて堂々と発表できたので、落語を学習できたことはとても良かったです。
  - ・僕は「呉で落語を愉しむ会」に出たかったのですが、オーディションで落選。そこから猛練習し、地域の落語会に臨みました。そのおかげいろんな人を笑わせる落語ができて良かったです。
- 【挑戦・探究】  
【責任・使命】
- ・今回「自分で考えて動く」ことの大切さを学びました。このことを生かして周りの人から頼りにされる存在になりたいです。



クラスオーディションの様子

### 【全体を通して】

グループ内で互いの演技を見せ合い、良かったところやアドバイスを伝え合うことで、自分の落語を見直して技を取り入れたり、表現方法を考え直したりすることにつながった。

【知識・技能】

互いの良さを互いに認め合い、協働することによって表現力を高め合うことができた。例えば、「この仕草は、手を動かさずに、頭の動きでかぶりものに頭を入れるのがきついことを表現すると落語の先生が言われていたよ。」「顔の向きが上下が大きすぎる。」「虎の歩く前足の仕草だけでなく腰の浮かし方がすごく上手いからまねをしたい。」など、同じ落語を練習する仲間同士でのアドバイスは、セリフの言い回しだけでなく、言葉の強弱・イントネーション、表情や仕草等多岐にわたり細かく丁寧にされており、みんなで技を極めようという雰囲気で行うことができているグループもあった。

【思考・判断】【協力・協働】

しかし、中には互いに高め合うための雰囲気作りの課題が感じられるグループもあった。全体としては、近づいてきている「広南劇場落語発表者選考会」に向けての意欲を高めることにつながる成果の多い授業であった。